

# Science News

山形市立  
明治小学校  
令和2年7月

令和2年6月21日に見られた、部分日食です。明治小の北側の田んぼ道での撮影です。部分日食とは、地球と太陽の間に月の軌道が重なり、月が太陽の一部を隠してしまう現象です。欠けたように見える部分には月があるのです。今回は17時7分に食最大を観察することができました。それが以下の写真です。宇宙で起こる現象の不思議さ神秘性を感じてほしいと思います。なお、どのように欠けて戻ったのか、連続写真をご覧ください。なお、太陽の観察は細心の注意が必要です。写真はフィルタを使い1/100000に減光した上で、撮影しています。

## 明治地区で見られた 部分日食



2020年6月21日



日食は太陽、月、地球が一直線並ぶ新月の時に起こります。また、月と太陽の見かけ上の大きさが、ほぼ同じに見えるのは、太陽の直径が月の直径の400倍もあるのに、地球から月までの距離が太陽までの距離の1/400しかないからなのです。日食は、自然がもたらす奇跡的な現象なのですね。今回のように全国で見られる日食は、10年後の2030年6月1日です。そのときは北海道で金環日食が見られます。興味のある人は、ぜひ調べてみてください。